授業科目名	開講年次	開講時期	単位数	時間数	実務経験
地域・在宅看護援助論Ⅱ	2年次	後期	1	30	有

科目責任者	西村禎子
授業概要	在宅で医療を受ける対象者と家族に対して安全、安楽、権利を尊重しながら、治療・処置、看護を提供する技術を学ぶ。
目標	1.在宅で医療処置を受ける療養者に対して、安全に実施する方法と留意点を理解する。 2.在宅における医療処置に対して起こりうる危険と対処方法（予防方法）を理解する。 3.在宅で医療処置を受ける療養者と家族への必要な指導内容・方法を理解する。

授業内容

回	内容	担当	授業方法
1	在宅で求められる看護技術（生活行為を支える看護）	西村	講義
2	在宅における医療処置 （安全性、療養者の心理と生活への影響）	西村	講義
3	食生活・排泄を支える看護技術 （経管栄養法、尿道留置カテーテル）	西村	講義・演習
4	呼吸を支える看護技術 （在宅酸素療法、在宅人工呼吸療法）	西村	講義・演習
5	在宅における医療処置・管理を要する人の看護 （胃瘻からの経管栄養）	西村	講義・演習
6		西村	講義・演習
7	在宅における医療処置・管理を要する人の看護 （気管内吸引）	西村	講義・演習
8		西村	講義・演習
9	在宅における医療処置・管理を要する人の看護 （在宅中心静脈栄養）	西村	講義・演習
10		西村	講義・演習
11	在宅における医療処置・管理を要する人の看護 （ALS、終末期、脳性麻痺、COPD）	西村	演習
12	在宅で求められる技術の応用 （COPD急性増悪、終末期看取り）	西村	演習
13		西村	演習
14	在宅医療技術（ストーマ）の実践	笹木	演習
15	まとめ	西村	講義・演習

履修条件	なし
テキスト	系統看護学講座　専門分野　地域・在宅看護の実践　地域・在宅看護論2　医学書院
参考書	なし
評価方法	試験（80%）、提出物（20%）